

複雑な社会課題に向き合い 成果に挑戦する“超実践型プログラム”



SOCIAL ACTION ACADEMY

ソーシャルアクションアカデミー 2024

[企画・運営]

非営利組織とともにリアルな社会課題解決に挑戦する経験と
エキスパートによる講義やフィードバックを通じて
ビジネススキルを磨くことを両立する、
超実践型アクションラーニングプログラムです。

社会課題解決につながる新たな事業・活動を生み出すプロセスを
体感できる貴重な機会として、皆さまのご参加をお待ちしています。

関連性の高いキーワード

#社会感度

#課題解決力

#SDGs

#CSV

#越境学習

#社会調査

#イノベーション

#重層的支援体制整備

#地域共生社会

#孤独孤立

#相対的貧困

#ひとり親

#社会的養護

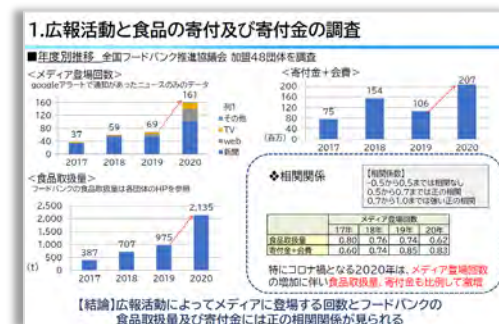
ソーシャルアクションアカデミーの目指すゴール

ソーシャルアクションアカデミーを通じて、社会課題を可視化し、新たなセーフティネットを生み出すようなチャレンジを推進していきます。

課題の実状を可視化し ひろく共有するための社会調査

課題当事者や研究者、支援者等に対するインタビューやアンケート調査、ワークショップ等を通じて、**課題やニーズを詳細に把握**。

また、課題の規模や度合いを数値的に把握したり、要因の構造化を図式化するなど、数字や視覚に訴える形で表現し、**多くの人が共有できるような発信形態を模索**します。



資料：SAA2022 フードバンク広報チームの最終報告書

課題解決につながる 新たな事業・活動の試行や実践

課題解決につながる**有効なアクション**を企画し、試行や実践を通じて、**その可能性・実効性を検証**します。

社会的な仕組みづくりにつながる**新たな地域活動の試行**、人々の意識変容につながる**キャンペーン活動**、**ソーシャルビジネスのプロトタイプ開発**など、**様々なアイデアをカタチに**していきます。

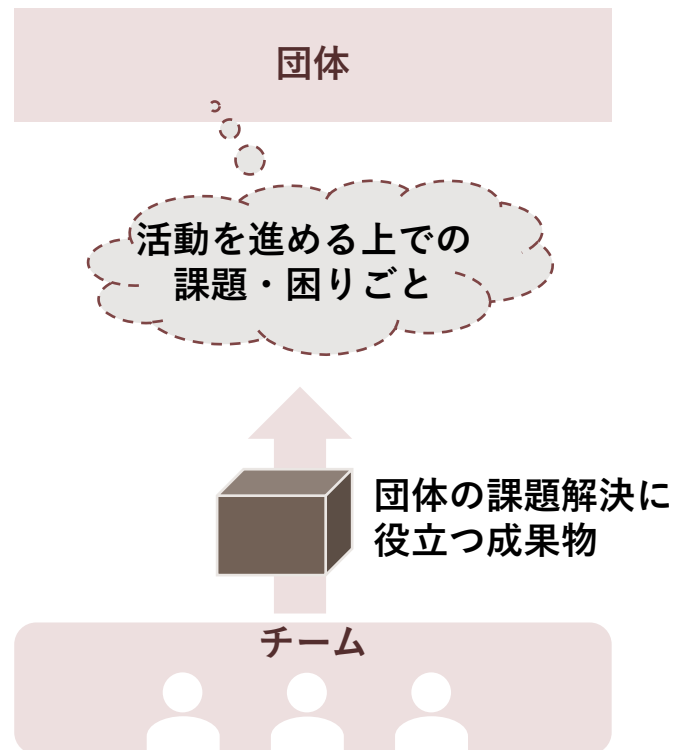


写真：SAA2022年度実績 ネイルを用いた少女支援企画「Furelute」

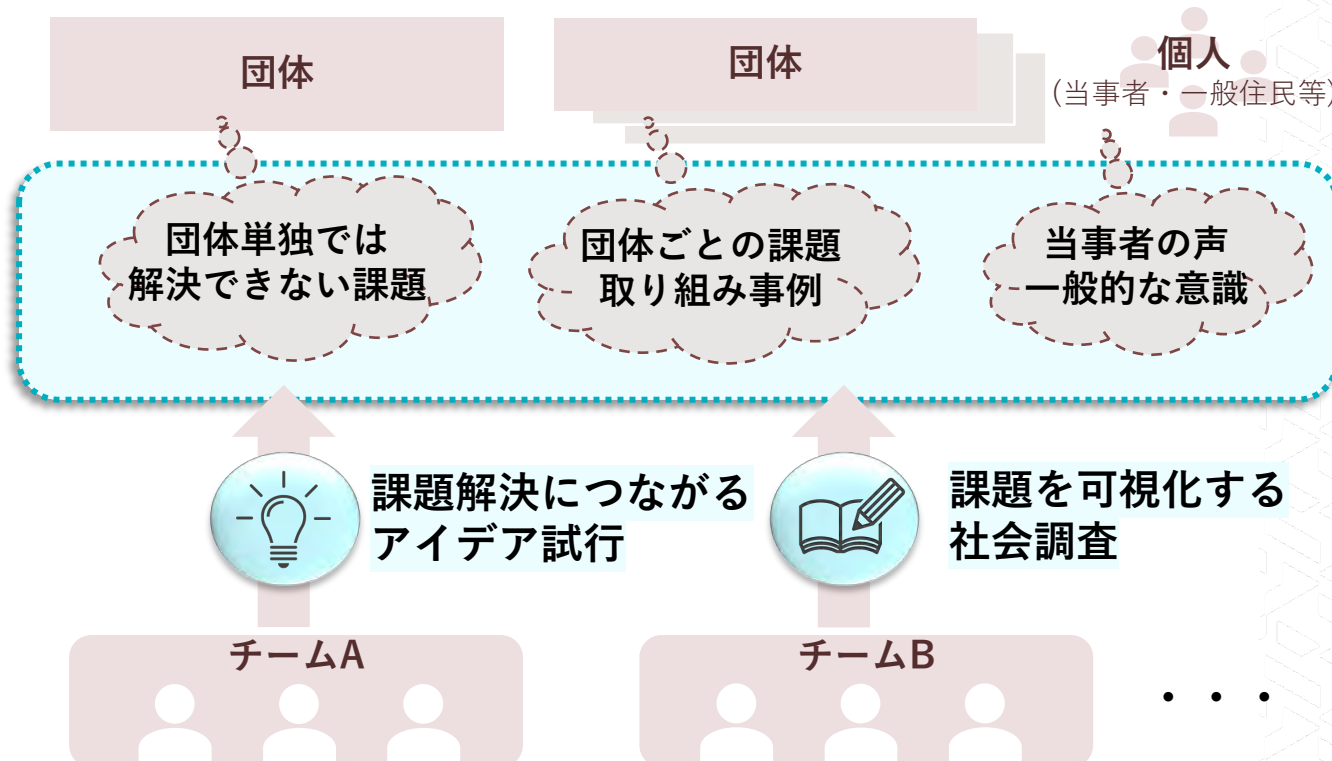
プログラムの特徴

テーマや地域において共通性の高い課題を対象に、課題の可視化や解決に向けた具体的アクションを実行していく、クリエイティビティを発揮するプログラムです。

個別団体支援のプロボノプロジェクト

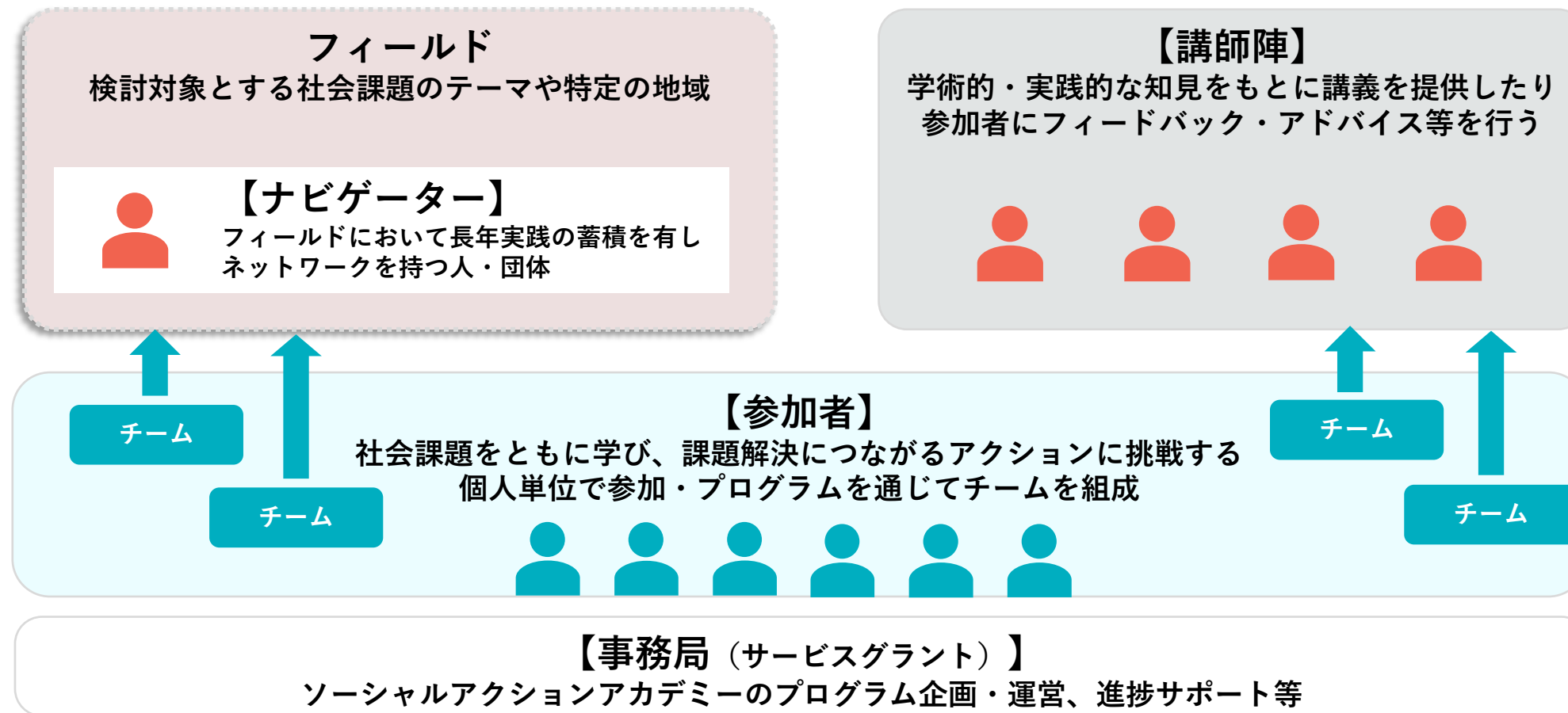


ソーシャルアクションアカデミー



ソーシャルアクションアカデミー2024 実施の全体像

社会課題の現場で活動するソーシャルセクター、学術的・実践的な知見を豊富に有する講師陣、経験や知識を活かして参加するプロボノワーカーや大学生などがこの場に結集します。



フィールドとナビゲーターのご紹介

フィールド1

クローズアップ・シブヤ 支援や制度からこぼれ落ちる課題とは

渋谷区では、従来の福祉の枠組みで捉えきれない課題に対応するため「重層的支援体制整備事業」に取り組んでいます。しかしながら、ひとり暮らしも多く、地域のつながりが希薄な大都市ゆえに、課題が見えづらく、現状や実態の把握が困難です。渋谷区に焦点を当て、子どもの貧困や中高年の孤立・孤独など幅広いテーマについて課題の可視化や解決策の検討に挑戦します。

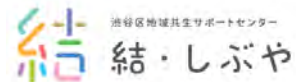
ナビゲーター



渋谷区社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター
しぶやボランティアセンター

渋谷区内を4つの小地域に分け、13人の地域福祉コーディネーターが、住民から寄せられる複雑で多岐にわたる相談に対応しています。また、しぶやボランティアセンターでは、渋谷区内の地域団体と個人・企業等によるボランティアの仲介等を行っています。

[協働]



フィールド2

ひとり親家庭の実情 貧困の連鎖を断ち切るために

「子どもの貧困」の大きな要因がひとり親の家庭にあることは一般的に知られるようになりました。所得が低く、家事や子育ての負担が一人に集中する状況の中で、子どもたちの世代に可能性や機会を開くために求められることは何でしょうか。ひとり親、特にシングルマザーの実状をめぐる各種データや当事者の声をもとに、貧困の連鎖を食い止めるための方策を議論します。

ナビゲーター

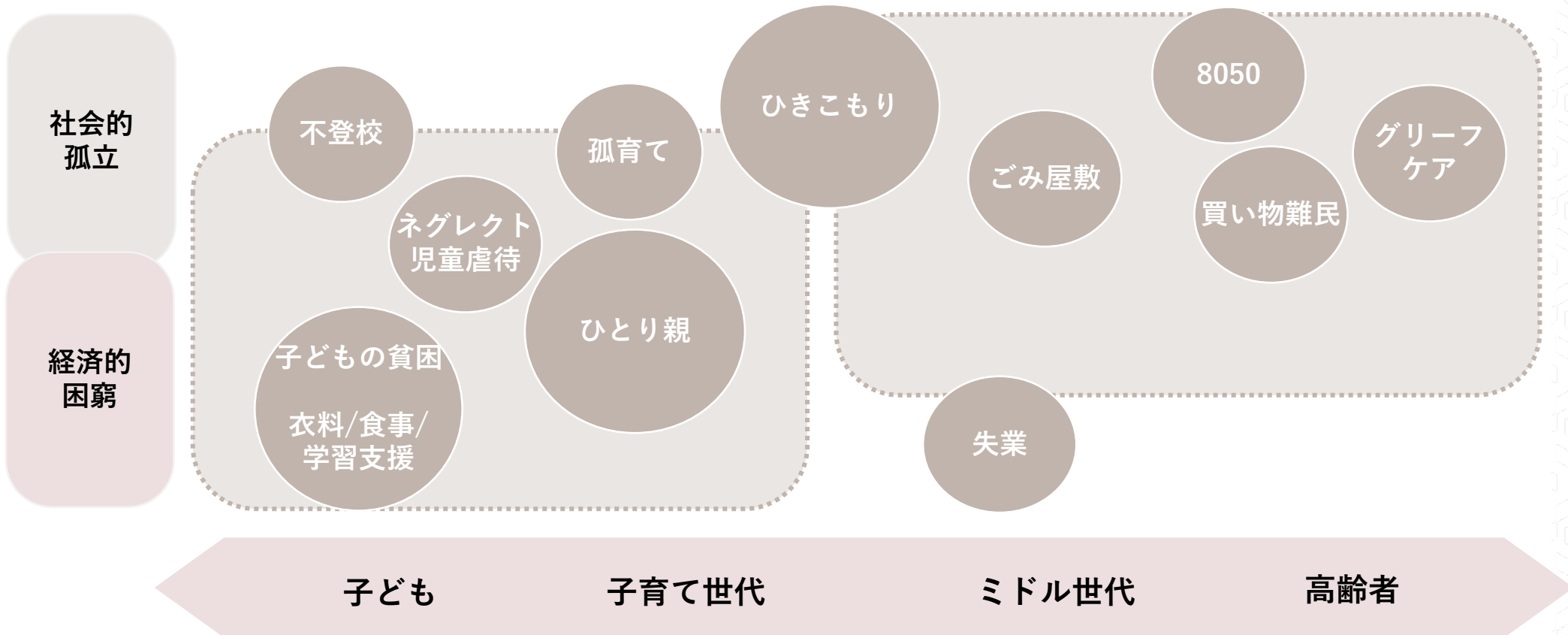


NPO法人
しんぐるまざあず・ふぉーらむ

ひとり親家庭をめぐる課題に関して、調査・政策提言から、食事の支援パッケージの提供、就労支援、電話・メール相談、情報発信まで幅広い活動を続けています。無料メルマガ会員は関東を中心に約1万人。各地団体ともシングルマザーサポート団体全国協議会を通じて連携。

子どもと子育て世帯の貧困

ミドル・シニアの孤独・孤立



▼調査トピック

春 3-5月

夏 6-8月

秋 9-11月

冬 12-2月

食糧支援

● 食糧支援申込調査

● 調査結果発表
食糧支援募集へ活用

アンケート自由記
述の分析・深掘り
の可能性

対象：児童扶養手当の受給者
規模：3000-4000世帯

夏調査

対象：団体会員
規模：1万人

● 冷房など光熱費、物価高騰の影響調査

● お盆に調査発表
メディアに提供

年末調査

対象：団体会員、シ
ングルマザーサポー
ト団体全国協議会の
加盟団体（36団体）

● 就労生活調査
収入、雇用形態、
購買ニーズ、滞納、
貯金の有無などを調査

● ボーナス支給前に
メディアに提供
寄付募集に活用

追加設問(数件程度)による
実態把握・可視化の可能性

その他例

就労の困難要因
(こどもの不登校など) 調査

共同親権
意識調査

養育費調査

就労支援
ニーズ調査

社会課題を学びながら解決に挑戦するプログラム

▼ まずは社会課題の存在を「知る」	基礎講座
▼ 現場訪問・体験を通じて「共感する」	スタディツアー
▼ 社会調査の枠組みと具体的手法を「学ぶ」	特別講座・事例研究
▼ ソーシャルアクションを「企画する」	調査設計・事業アイデア検討
▼ ソーシャルアクションを「実践する」	社会調査・アクション実行
▼ 調査結果や経験・学びを「言語化する」	フィードバック&ふりかえり
▼ 得られた知見や考察をまとめて「発信する」	成果共有会

社会科学の専門家と実践者による多角的視点からの講義 [1/3]

特別講座・基礎講座等は、社会科学の専門家を講師に招き、来るべき社会像を議論するとともに、課題を可視化する調査手法や、データから考察を引き出す方法論、社会課題に働きかけるデザインの可能性など、多角的で密度の濃いカリキュラムです。

ソーシャルグッドなイノベーション



田中 美帆氏

株式会社cocoroé 代表取締役

ソーシャルデザイン・ディレクター。複雑な背景が絡み合う社会課題に対し、多彩な人々が一緒に知恵を絞り、異なる視点のアイデアを出し合いながら、未来の社会価値向上と、ソーシャルグッドなイノベーションを生み出すデザイン創出に取り組んでいます。多摩美術大学非常勤講師。

ウェルビーイングのための社会科学



橋本 努氏

北海道大学大学院経済学研究科教授

新しいレベルの可視化に向けての社会調査と分析を統括する。専門は社会哲学。著書に『社会科学の人間学』（勁草書房）、『自由原理 来るべき福祉国家の理念』（岩波書店）、『「人生の地図」のつくり方』（筑摩書房）など多数。

NPOだからこそ白書を作れ その意義と可能性



川北 秀人氏

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表

リクルート、国際青年交流NGO代表や国会議員の政策担当秘書などを経て、94年にIIHOE設立。全国各地でNPO経営や地域づくりの講演・研修活動を精力的に行っている。



坂口 緑氏

明治学院大学 社会学部教授

専門は市民社会論、生涯学習論。雑誌『ソトコト』コラム「ソーシャル系大学案内」を担当（2012年?2022年）。主な共著に『政治の発見つながる』（風行社）、『デンマーク式生涯学習社会の仕組み』（ミツイパブリッシング）ほか。

社会科学の専門家と実践者による多角的視点からの講義 [2/3]

ソーシャルアクションを実践するための具体的な方法論や思考法について、
実践経験に根差した現場感あるインスピレーションが得られる講座が連続して展開します。

アイデアをカタチに“笑える革命”の流儀



小国 士朗氏

株式会社小国士朗事務所 代表取締役／プロデューサー
元NHK番組ディレクター

「注文をまちがえる料理店」「deleteC」「Be supporters!」など、数々の社会性とインパクトのある企画をプロデュースしている。

社会課題の伝え方 Dos & Don'ts



岡本 佳美氏

株式会社アム

マーケティングのノウハウを生かし、フローレンスやクロスフィールズ創業時から、コミュニケーションをリード。ブランディングや戦略的広報を得意とする。

0 から 1 を生み出すエネルギーと発想法



広石 拓司氏

株式会社 エンパブリック 代表取締役

ソーシャル・プロジェクト・プロデューサーとして、地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題解決型事業の企画・立ち上げ・担い手育成・実行支援に多数携わっている。

社会調査の実践事例と成功のための技法



石原 英樹氏

明治学院大学社会学部教授

専攻は文化社会学、コミュニケーション論、地域社会論。近年の関心はLGBTへの寛容性に関する統計分析。大学では「内なる国際化」プロジェクトに所属し難民や移民の子どもへの支援を考えている。

社会科学の専門家と実践者による多角的視点からの講義 [3/3]

課題解決のためのアクションを実現したプロジェクトや、アドボカシー活動を通じて政策提言や制度の変革に至った事例などを、ソーシャルアクションアカデミーの過去回やサービスグラントのプロボノプロジェクトの事例から具体的に紐解きます。

活動立ち上げの試行錯誤と広がる共感



橘 ジュン氏

NPO法人 BONDプロジェクト 代表理事

街頭の女の子の声を伝えるフリーマガジンVOICESを創刊。虐待、家出、貧困など様々な困難をひとりで抱えてしまう10代20代の女の子に寄り添い「聴く、伝える、繋ぐ」女性による支援に取り組んでいます。著書に『漂流少女～夜の街に居場所を求めて～』など。



林 恵子氏

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル理事長

ソーシャルアクションアカデミー共同創設者。児童養護施設を18歳で退所する人などを中心に社会的養護をめぐる支援活動を長年にわたって展開。関東圏を中心に全国で約200の児童養護施設、150社ほどの協力企業、500名ほどのボランティアなど、幅広いネットワークを持っている。

社会を動かすアドボカシーの力



米山 廣明氏

一般社団法人 全国フードバンク推進協議会 代表理事

各地で活動する50以上のフードバンク団体をネットワークする全国組織の代表として、活動実態調査や団体に向けた研修・伴走支援、国や自治体への政策提言活動、企業への食糧寄付の呼びかけなど、多岐にわたる活動を精力的に展開。



松本 亜樹子氏

NPO法人 Fine ファウンダー

2004年から不妊当事者のサポートをする活動を進め、当事者の自助活動に加え、調査・政策提言等幅広い活動を展開。政府や企業の不妊治療への支援制度づくりにも大きく寄与している。

カリキュラムの構成と参加費用

ソーシャルアクションアカデミーの特別講座の受講料は下記のとおりです。
また、団体の活動現場訪問やプログラム参加体験ができる「スタディツアー」については参加費・資料代等が発生する可能性があります。

カリキュラムの種別	費用
特別講座	<p>全5講座受講 14,000円(税込)</p> <p>※ NPO職員・大学生・サービスグラントのプロボノ経験者は半額</p>
スタディツアー	<p>訪問先の団体・活動内容等により、参加費・資料代等が発生する可能性があります。 現地までの交通費等は自己負担でお願いします。</p>
<p>基本プログラム</p> <p>オリエンテーション／基礎講座・事例研究／ワークショップ／キックオフミーティング／ブラッシュアップミーティング／進捗共有会／成果報告会 等</p>	<p>主催団体である認定NPO法人サービスグラントへの寄付を、参加者の任意で、随時受け付けています。寄付金額は1口3,000円で、1口から可能です。</p> <p>打ち合わせ、現場訪問等で発生した交通費や、ソーシャルアクションの実施に当たって発生した経費等は自己負担でお願いします。</p>

全体カリキュラムと実施日程 [1/4]

※カリキュラムは今後変更になる可能性があります

凡例：



必修または選択必修



任意参加



特別講座(有料)

オンラインおよびハイブリッド開催のプログラムはすべて後日動画視聴が可能です。

	プログラム	ゴール	担当講師
Zoom	5/22(水) 19:30-21:30 オリエンテーション+基礎講座①「ソーシャル基礎知識」 プログラムの詳細や進め方のポイントを説明するとともに、ソーシャルセクターの基礎についての解説を行います。	・プログラム全体像を理解する ・参加者どうしの顔合わせを行う	嵯峨生馬 (サービスグラント) サービスグラント
Zoom +動画	5/29(水) 19:30-21:30 特別講座①「ソーシャルグッドなイノベーションの心得」 複雑な社会課題を前に、多彩な人々が知恵を絞り、共生・協働できる「場・関係・コミュニケーション」のデザイン創出の“心得”とは？	・社会課題解決におけるデザインの役割や可能性について、海外・国内のさまざまな事例とともに理解を深める	田中美帆氏 (株式会社cocoroé 代表取締役 多摩美術大学非常勤講師)
Zoom +動画	6/1(土) 10:00-12:00 特別講座②「NPOこそ白書を作れ その意義と可能性」 社会課題を可視化することは、課題の存在を社会に発信し認識を高めるだけでなく、政策議論の土台を作り、パートナーや支援者のすそ野を広げることにもつながります。NPO活動における社会調査の意義を説きます。	・社会課題解決において、データの可視化、調査・研究活動の重要性を理解する	川北秀人氏 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表)
Zoom +動画	6/5(水) 19:30-21:30 特別講座③「ウェルビーイングのための社会科学」 私たちが目指すのは福祉国家か、新自由主義か。ウェルビーイングをキー概念に、これからの社会のあり方を展望し、求められる学問や能力を提案します。	・社会科学の理論的枠組みの変遷と今後の展望の中で、社会科学の可能性や期待される役割を見据える	橋本努氏 (北海道大学大学院経済学研究科教授) 坂口緑氏 (明治学院大学社会学部教授)
Zoom	5/22~6/8 1on1セッション 受講者と事務局スタッフ等による1on1ミーティング (1人10分程度) を実施し、受講ニーズや問題意識などをお伺いします。		サービスグラント

全体カリキュラムと実施日程 [2/4]

※カリキュラムは今後変更になる可能性があります

		プログラム	ゴール	担当講師
会場 (渋谷) のみ	6/8(土) 13:00-17:00	課題共有①+ワークショップ 「クローズアップ・シブヤ～渋谷の地域課題を考える」 大都市・渋谷に焦点を当て、地域とそこに暮らす人々の課題について掘り下げていきます。	・渋谷区内の地域課題、特に、従来の福祉制度による支援が難しい課題の存在を知り、理解を深める	地域福祉コーディネーターの皆さん 渋谷区内で活動する団体の皆さん WS進行：サービスグラント（結・しぶやコミュニティマネージャー）
Zoom	6/12(水) 19:30-22:00	課題共有②+ワークショップ 「ひとり親家庭の実情～貧困の連鎖を断ち切る戦略」 一般的に所得が低く子育てにかけられる時間や労力が限られるひとり親世帯の実情を知り、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みについて考えます。	・ひとり親が置かれた経済・社会的状況について理解し、課題の構造や課題解決に向けた取り組みの現状について知見を共有する	しんぐるまざあず・ふぉーらむ WS進行：サービスグラント
Zoom +動画	6/19(水) 19:30-21:30	特別講座④「アイデアをカタチに“笑える革命”の流儀 社会課題をテーマに数々のソーシャルアクションを生み出してきたプロデューサーから、アイデアをカタチにする方法論や思考法を学びます。	・アイデアの具体化の方策を学ぶ ・ソーシャルアクションのアイデアをもとにミニ壁打ち体験を得る	小国士朗氏（小国士朗事務所）
活動現 地 ・ Zoom など	6/15～ 7/19 任意参加 一部定員あり	スタディツアー① 渋谷区内ソーシャルまち歩き 渋谷区内の東西南北4地域それぞれについて、区内のNPO・地域活動団体の活動拠点などにも立ち寄り、地域特性を体感しながら、まち歩きを行います。		進行：サービスグラント （結・しぶやコミュニティマネージャー）
		スタディツアー② 渋谷区内地域活動現場訪問 こどもテーブル（子ども食堂）や地域の居場所など、渋谷区内で地域のつながりをつくる活動の現場を訪問します。	・社会課題の現場に触れて、肌で感じる ・当事者の声を直接聞く	協力：渋谷区社会福祉協議会 渋谷区内のNPO・地域活動団体
		スタディツアー③ ひとり親支援の現場に触れる ひとり親支援のためのセミナーや研修など、しんぐるまざあず・ふぉーらむが運営する会合に同席し、支援の実際の様子に触れます。		協力：しんぐるまざあず・ふぉーらむ

※スタディツアーにはプログラムによって、参加できる人数に上限があります。詳細はオリエンテーションでご説明します。

全体カリキュラムと実施日程 [3/4]

※カリキュラムは今後変更になる可能性があります

		プログラム	ゴール	担当講師
Zoom	6/26(水) 19:30-21:30	事例研究①「活動立ち上げの試行錯誤と広がる共感」 目の前にある課題やニーズに「何かしたい!」という気持ちを掛け合わせて、新しい活動を立ち上げることの苦勞と楽しみ、手ごたえについて、実践者の生の声をお聞きます。	・新しいソーシャルアクションの立ち上げにまつわる実体験を共有し、アクションを起こすイメージを共有する	橋ジュン氏 (BONDプロジェクト) 林恵子氏 (ブリッジフォースマイル)
Zoom	7/10(水) 19:30-21:30	事例研究②「社会を動かすアドボカシーの力」 当事者の声を集め、データとして発信することで、法改正や企業の取り組みに影響を与えることができる…可視化や数値化の可能性について、具体的な事例とともにご紹介します。	・社会調査やアドボカシーを通じて政策や制度を動かすことの社会的インパクトと実現の手法について実例を知る	米山廣明氏 (全国フードバンク推進協会) 松本亜樹子氏 (Fine)
会場 (渋谷) + Zoom	7/13(土) 13:00-17:00	基礎講座②+ワークショップ 「0から1を生み出すエネルギーと発想法」 ソーシャルな活動を立ち上げる際に、どんなことに注意して、どんなことは心配しすぎなくていいのか…さまざまな社会起業家や地域活動の事例をもとに講師からポイントを解説します。その後、参加者によるフリーディスカッションを通じて実践テーマのアイデアを出し合います。	・新たな活動立ち上げに必要な思考法を知る ・各フィールドのナビゲーターから提示された課題と、参加者の興味関心を擦り合わせながら、今後のアクションに向けたアイデアを出し合う	広石拓司氏 (エンパブリック 代表取締役) WS進行: サービスグラント (結・しぶや コミュニティマネージャー)
Zoom	7/31(水) 19:30-21:30	基礎講座③「社会調査の実践事例と成功のための技法」 仮説検証により有意な相関関係を見出すためのアンケート調査とは? インタビュー調査とアンケート調査の効果的な連携の方法は? 社会調査のさまざまなノウハウやコツを、実践事例を交えながらご紹介します。	・社会調査に関心を持つ受講者を対象に、アンケート調査・インタビュー調査の手法について、具体的なケースを通じて実践的に体得する	石原英樹氏 (明治学院大学社会学部教授)
Zoom +動画	8/7(水) 19:30-21:30	特別講座⑤「社会課題の伝え方 Dos & Don'ts」 マーケティングの手法を活用しながら、いかに効果的に社会的な発信を行うか、具体的な事例とともに解説いただきます。	・社会領域におけるマーケティングとコミュニケーションのポイントを学ぶ	岡本佳美氏 (株式会社アム)
Zoom	8/20(火) 19:30-21:30	壁打ちセッション キックオフミーティングに向けて、ソーシャルアクションの企画・アイデアについて壁打ち・アドバイスを受ける貴重な時間です。	・ソーシャルアクションの企画のポテンシャルを高める	小国士朗氏 (小国士朗事務所)
Zoom or 対面	7/14~ 8/23	クラスルーム 期間中、アカデミー参加者どうしでアイデアを出し合ったり、ディスカッションを行う自由な場として、意見交換の場を開催します。 開催日程・頻度は、受講者と相談のうえで任意参加で設定します。	・他の参加者のアイデアを聞きインスピレーションを得る ・さまざまなアイデアとその実現の選択肢を模索する	サービスグラント

全体カリキュラムと実施日程 [4/4]

※カリキュラムは今後変更になる可能性があります

		プログラム	ゴール	担当講師
会場 (渋谷) + Zoom	8/24(土) 13:30-16:30	キックオフミーティング キックオフミーティングでは、団体・講師陣・チームの間で、調査活動の目標と進め方について検討・合意を図ります。	・プロジェクトの目標、具体的な活動内容、社会的成果等について団体およびチームメンバー内で合意する	地域福祉コーディネーターの皆さん しんぐるまざあず・ふぉーらむ
	8/25～ 12/6	ソーシャルアクション実践期間 チームごとに企画したソーシャルアクションを、いよいよ実行に移していく期間です。	・設定したマイルストーンに照らし合わせ活動を進める ・想定が外れた場合でも、計画変更を含め状況に柔軟に	サービスグラント
Zoom	9/4(水) 19:30-21:30	ブラッシュアップミーティング 主にソーシャルアクションの企画を検討中のチームに向けて、もう一段思考を深め、ディテールを詰め、さらに大きなインパクトを狙うための仕掛け方・工夫点についてアドバイスを受けながら練り上げます。	・ソーシャルアクションの企画のポテンシャルを高める	岡本佳美氏 (株式会社アム)
Zoom	11/6(水) 19:30-21:30	進捗共有会 各チームによる社会調査の進捗状況を共有するとともに、課題点や苦心している点などについて解決に向けた方策をディスカッションします。	・他の参加者のアイデアを聞きインスピレーションを得る ・ソーシャルアクションの後半に向けた検討を進める	広石拓司氏 (エンパブリック 代表取締役)
Zoom	11/20(水) 19:30-21:30	分析・理論化セッション 主に社会調査に取り組むチームに向けて、収集した調査データをもとに、どのように分析し、社会的な提案・提言へと昇華させるかについて、ディスカッションを行います。	・経験や結果をもとに一般化できることを発見する ・考察をまとめ、提案・提言へと理論化する	石原英樹氏 (明治学院大学社会学部教授) 坂口緑氏 (明治学院大学社会学部教授)
会場 (渋谷) + Zoom	12/7(土) 13:30-16:30	成果共有会 一般の参加者を対象に、社会調査の成果をひろく報告・発信するイベントです。各チームはこの場で自分たちが取り組んできた社会調査の結果をプレゼンし、また、考察や提言をまとめて発信します。	・取り組みの成果をまとめてひろく社会に発信する	地域福祉コーディネーターの皆さん しんぐるまざあず・ふぉーらむ サービスグラント
Zoom	12/18(水) 19:30-21:30	相互フィードバック & ふりかえり 取組を振り返り、チームメンバー同士のフィードバックを行ったり、自身の気づきや今後の仕事・生活に活かせるポイントを整理します。	・フィードバックを通じて自身の強みや課題を確認する ・今後の社会課題との向き合い方や仕事への持ち帰りについて言語化する	サービスグラント

アカデミーへの参加によって得られる経験機会とは？

複雑な課題に向き合い成果を生み出す半年間

■ 自立性を発揮し新たな動きを生み出す

- 課題を捉え、自由な発想で企画し、失敗も含めて学びあう環境があります。
- ひとりでは解決できない社会課題だからこそ、共に知恵を絞って協働し、仮説を調整しながら成果を生み出す挑戦ができる場です。

■ 課題解決の最前線で活動する当事者と対話できる

- 社会課題を目前に奮闘するNPO代表やスタッフ、関係者との対話を通じて、多様なリーダーシップやマネジメントのあり方、価値観の違いを共感を持って受容し、理解する力が磨かれます。

■ 本業とは異なる環境、異業種メンバーの中で自身の強みに気づく

- いつもの当たり前前が通じないVUCA時代さながらの環境で、企画から実行・検証までのすべてに関わる経験は、自身の強みや可能性を発見し、本業にも還元される能力開発になります。

参加をオススメする対象者像とは？

アカデミー過去参加者へのヒアリングの中から、こういう人の参加がオススメという声が上がったポイントです。ひとつでも該当する人は、ぜひ参加を検討してみてください。

【ビジネスパーソン】

- 社外での新たな挑戦を通じて、自らの知見を広げてみたい
- ヒエラルキーのない多様なメンバーと、プロジェクトを行ってみたい
- 自ら手や足を動かして、手ごたえを感じてみたい
- プロジェクトを俯瞰して、企画・実施・検証まですべてに関わりたい

【NPO職員・学生】

- 普段接点の少ない企業人と、実践的な協働をする経験を得たい
- ビジネスや調査などの手法について、新たな知識を手に入れたい
- 関心ある社会課題について理解を深めたり、新しいアクションに挑戦してみたい

過去参加者アンケートより

自分事・リーダーシップ

自分自身が社会課題のリアルを体験して、より**自分事**として捉えることができました。

いつも接しているビジネスリーダーとは**違う、リーダーシップ**を感じました。

「自分自身のためにやりたいと思ってやっている」といった趣旨のご発言が、**とことんジブンゴト**として取り組まれていて素敵だと感じました。



企画から実践まで短いサイクルの中で体験でき良かった

実践・実行力

机上の議論だけではなく**実行する大切さ**を、本業にも生かしていきたい

「気になってる」「考えてる」状態から**一步踏み出し、「ちょっとやってみる」**にマインドが移行していて、ソーシャルスタートアップ説明会に参加してみようと思います。

事業で社会に貢献するためにも、SAAで経験できるような社会課題に取り組んでみて、**一步踏み出すことが、役立つ**気がします。若手社員むけの研修だけでなく、**もっと上の層にも役立つ**気がしました。

社内でも社会課題への取り組みの重要性には目を向けられています。仕事とSAAとの共通項を探しつつ、**イノベーションを起こしたいなあ**と企んでいます。



©Service Grant Japan.

新しい働き方に触れる経験

本業とは異なる立場や関係性

年齢が異なるメンバーが集まると会社では上司部下の関係が持ち込まれるが、**フラットな関係で成果を出すやり方**が今の時代だったり、社会が大きく変化する時代にはあっている気がしました。

自社の中では年下の立場、今回の活動では私が一番最年長で、**普段と逆の立場**では、**どのように参加してもらえると助かるのかを身をもって感じる**ことができたのは良かったです。

社会課題とイノベーション

年齢が異なるメンバーを集めた**クロスファンクショナルチーム**を作って、**課題解決する**といったことをしてみたい!



偏った視点、届かないアクションになってないよね、ということプロが見てくれる、ので**安心して全力を出せる**気がしました。

アクティビスト×アドバイザー×事務局という**後ろ楯がある**中の**チャレンジは安心**かつとても勉強になりました。

安心してチャレンジできる環境

よくある質問と答え

Q：仕事などで都合がつかない日程があるのですが、後日アーカイブ視聴可能でしょうか？

A：可能です。録画の視聴や同期メンバーとのコミュニケーションにて、キャッチアップをお願いします。

Q：定員はありますか？

A：プログラム全体の定員を50名前後で考えています。参加フィールドについてはお申込み時に確認いただく参加条件に合致していれば、なるべくご希望に沿う形にしたいと考えています。

Q：選考はありますか？

A：選考ステップはありません。但し、お申込み手続き時の各種確認内容に関して、ご同意いただく事が難しい場合、また、本プログラムの趣旨とご期待にずれがあると判断した場合は、ご参加手続きを中止のうえ、ご返金させていただく場合があります。

Q：大学生ですが、どのように申し込めばよいですか？ 社会人大学生も割引対象ですか？

A：Peatixでのお申込み時に、「ご所属・肩書き等」の欄に、学校名・学部学科名についてご記入下さい。本割引対象に、本業をお持ちの学生の方は含みません。

お申込みについてのご案内 & お問い合わせ

▼参加のお申込みはこちら



<https://saa2024.peatix.com/>

締切：2024年 5月 15日(水)

定員：50名程度

説明会は順次開催しています。
ご関心お持ちいただけそうな方へ、ぜひご紹介ください。

4/10 (水) 20:00-21:00

4/24 (水) 20:00-21:00

5/8 (水) 20:00-21:00

▼説明会お申込みはこちら



お問い合わせ

認定NPO法人 サービスグラント (担当：岡本・柴岡)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-10

〒541-0047 大阪市中央区淡路町2-5-16 淡路町ビル8階

<https://www.servicegrant.or.jp/>

メールアドレス

SAA@servicegrant.or.jp